



滋賀の魅力を向上させるまちづくりへの支援

- コロナ禍を契機に、価値が再認識されている公園・緑地等の充実や、自然と都市が調和した滋賀の魅力を向上させるための取組への支援を図られたい。

【提案・要望先】総務省、財務省、国土交通省

1. 提案・要望内容

(1) 県の魅力を向上させる都市計画事業の予算枠の拡大

- 国スポ・障スポ大会に向けた公園や街路整備を推進するための予算枠の拡大
- 公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業)の期間延長と交付税措置率の拡大

(2) こころの健康を支える公園づくりへの支援

- 新型コロナ禍を契機とし、人や社会とつながりが持ちにくくなっている中で、県民の「こころの健康」を支える、魅力ある公園づくりの取組への財政支援

(3) 「拠点連携型都市構造」の実現に向けたまちづくりへの支援

- 「拠点連携型都市構造」を推進するため、都市機能の集積等、誰もが暮らしやすい環境整備や賑わいを創出する取組への財政支援

2. 提案・要望の理由

(1) 県の魅力を向上させる都市計画事業の予算枠の拡大

- 2025年国スポ・障スポ大会に向け、会場となる公園や周辺の街路等の都市計画事業を計画的に進めるため、予算確保が必要。特に防災公園整備等で活用している5か年加速化対策については、必要な予算を、当初予算も含め別枠で安定的に確保するとともに、計画的な事業執行を図るための弾力的な措置が必要。
- 今年度で期限を迎える公園施設の長寿命化事業に係る公共施設等適正管理推進事業債の延長と交付税措置率の拡大が必要。

(2) こころの健康を支える公園づくりへの支援

- コロナ禍を契機に自宅で過ごす時間が増え、ストレス緩和の効果が得られる場所として、緑とオープンスペースの重要性が再認識され、都市公園の役割も高まっている。
- 県営都市公園においては、施設の老朽化・陳腐化が進行しており、官民連携(Park-PFI等)により、新たなニーズに対応する公園へのリニューアルが必要。

(3) 「拠点連携型都市構造」の実現に向けたまちづくりへの支援

- 駅周辺等のまちなかにおいて、街路や公園等の既存ストックを最大限に活用した「居心地が良く歩きたくなる」空間創出に向けた取組への財政支援が必要。

(本県の取組状況と課題)

(1) 県の魅力を向上させる都市計画事業の予算枠の拡大

【広域防災拠点となる金亀公園の整備 (都市公園事業)】



【公共施設等適正管理推進事業債を活用した小規模公園の長寿命化事業】



(2) こころの健康を支える公園づくりへの支援

コロナ禍を契機とし、貴重な屋外空間として公園等のオープンスペースの価値が再認識されており、「こころの健康」を支える公園の魅力をも高める取組への支援を！

身近な自然環境とのふれあい



コロナ禍を契機とした変化
～緑とオープンスペースの重要性の再認識～

こころの健康

地域でのつながりの場



「新しい生活様式」の実践



運動不足解消、リフレッシュ

公園の魅力をも高める取組

老朽化の著しい公園施設の改修等に対する重点支援を！

【 県営都市公園施設の設置経過年数 (令和元年度末) 】



民間活力を導入した公園整備 (Park-PFI) に対する重点支援を！

【公募対象公園施設(収益施設)】

・オープンテラス席を設けた飲食・物販施設

【特定公園施設(収益施設と一体的に整備)】

・大型遊具、せせらぎ水路整備

<今後の予定>

R3: 事業者選定・契約

R4: 施設整備



(3) 「拠点連携型都市構造」の実現に向けたまちづくりへの支援

駅周辺やまちなかにおいて、居住やサービス機能の誘導を図るとともに「居心地が良く歩きたくなる」空間創出に向けた取組に対する重点支援を！



担当：土木交通部都市計画課都市計画係 TEL 077-528-4182